

平成 22 年度 教育課程編成にあたって

小・中 総合的な学習の時間

1 平成 22 年度に求められる取組

(1) 年間指導計画の作成

- ① 全体計画及び年間指導計画に目標及び内容、育てようとする資質や能力及び態度、学習活動、指導方法や指導体制、学習の評価の計画の七つの要素を示す。
- ② 目標及び内容の設定に当たっては、地域や学校、児童生徒の実態に応じて行うとともに、日常生活や社会とのかかわりを重視する。
- ③ 内容としては、目標の実現のためにふさわしいと各学校が判断した学習課題を定める。
○学習課題(例):「国際理解、情報、環境、福祉、健康などの横断的・総合的な課題」、
「児童生徒の興味・関心に基づく課題」、「地域の人々の暮らし、伝統文化などの地域や学校の特色に応じた課題」、中学校においては「職業や自己の将来に関すること」

(2) 単元や教材の開発

- ① 単元は、「探究的な学習」となるように計画する。その際、学習課題を、学習対象と学習事項によって具体的・分析的に示し、単元計画を作成することが望まれる。
○学習対象・・・児童生徒が探究的にかかわりを深めるひと・もの・ことなど
○学習事項・・・学習対象とのかかわりを通して学ぶことが期待されること
- ② 体験活動を積極的に取り入れ、問題の解決や探究活動の過程に適切に位置付ける。
- ③ 他者と協同して課題を解決する学習活動や言語による分析やまとめ・表現などの学習活動が行われるようにする。

(3) 配慮すべきこと

- ① 特別活動や外国語活動と混同した実践にならないようにする。
例えば、運動会等の準備・練習、スキルの習得に重点を置いた外国語の学習活動など
- ② 小・中・高等学校間の接続を視野に入れた計画を作成する。

2 教育課程編成上、参考となる取組例

(1) 「地域の特色を生かし、小・中の接続に配慮した単元計画の作成例」

- ① 小学校では、アイヌの歴史や文化の学習から先人の生き方に触れ、ふるさとへの愛着と誇りをはぐくむ。〈3 学年:食文化, 4 学年:伝統芸能, 5 学年:衣文化, 6 学年:言語・民族〉
- ② 中学校では、他地域のアイヌの歴史や文化と比較したり、異民族との交易や人権等を調べたりして、生徒の興味・関心に基づいて学習を深化させ、ふるさとに生きる自覚を深める。

(2) 「地域の伝統や文化を通して自己の生き方を考える実践例」

- ① 三方荒神鹿島獅子の歴史や踊りの意味について資料やインターネット調べ、発表し合う。
- ② 一旦途絶えた三方荒神鹿島獅子踊りが昭和 49 年に復活したことや、復活にかけた当時の人々の思いや苦労を、地域の方に聞きながらさらに詳しく調べ、まとめる。
- ③ 聞き取り調査を基に、「獅子舞復活物語」を劇にして、地域の人を招いて見てもらう。

3 教育課程編成上の Q&A

- Q** 小学校第 6 学年で「最高学年としてどう取り組むか」をテーマに、「下級生お助け隊」や「あいさつ積極運動」などを行っている。児童から出された課題を基にした体験活動であるが、特別活動ととらえることもできるのではないかと。これは、総合的な学習の時間の学習活動としてふさわしいものか。
- A** 内容的に見て、単元全体が「探究的な学習」になっているかどうかで判断してほしい。また、学習対象や学習事項を明確に説明できるものになっているかどうかで判断の基準となる。